

日本神経回路学会 2022 年度総会 議事録

日時：2022 年 7 月 1 日（金） 15 時 00 分～15 時 40 分

場所：沖縄コンベンションセンターとオンライン（Microsoft Teams）のハイブリッド開催

1. 総会成立の確認

庄野議長（代理：坂本理事，途中で庄野議長に交代）より議事次第の紹介があった。次いで総会の成立について説明があり，104 名からの委任状，37 名の総会参加者がおり，83 名（正会員 419 名の 5 分の 1）以上の総会成立条件を満たすことから，本総会が成立することが宣言された。

2. 会長挨拶

五味会長より，NEURO2022 開催について大会長（銅谷理事および池田特任理事）への謝意の表明があった。

3. 会則改定および新会員システムについて

五味会長より，事務局の変更および会員の除名に関する会則項目の改定について説明があり，投票の結果，これを承認した。また理事会承認済みの「入会金および会費等に関する規程」の変更について説明があり，日本神経回路学会への所属が不要になった場合には，滞納して除名になるのではなく，退会申請を行うよう依頼があった。

続けて，五味会長より，web 化された新しい会員システムについて説明があり，口座振替に加えてクレジットカード決済，コンビニ決済，Pay-easy も利用できるようになったため，会費の期日通りの支払いをお願いしたい旨，依頼があった。

4. 会計報告および予算案について（田中理事，三輪理事）

・2021 年度決算報告（田中理事，三輪理事）

田中理事より，貸借対照表および 2021 年度収支計算書に基づき 2021 年度収支決算について報告があった。続いて，三輪理事より，監査報告書に基づき収支決算報告に相違ない旨の報告があった。投票の結果，以上の報告を承認した。

・2022 年度予算説明（田中理事）

田中理事より，2022 年度の予算案について資料に基づいて説明があった。投票の結果，これを承認した。

5. 法人化について（五味会長，竹村理事）

五味会長より，日本神経回路学会の法人化手続きについて，経緯，必要性，および法

人化後の体制案（理事，会長，副会長，特任理事，代議員，総会など）について資料に基づいて説明があった。続いて，竹村理事より，定款案について概要や今後の承認手続きの予定について説明があった。法人化方針案について決議を行い，投票の結果，これを承認した。

6. 事業報告

・学会誌出版（太田理事）

太田理事（編集委員長）より，3月と6月の和文誌の出版状況について報告があり，また今後は9月と12月にも発行予定である旨，説明があった。

・英文誌出版（豊泉理事）

豊泉理事（編集長）より，投稿数が増えている旨，報告があり，今後も日本からの積極的な投稿について呼びかけがあった。

・時限研究会支援（間島理事）

間島理事より，若手時限研究会として2件の採択があったことについて，報告があった。また2023年度も同様の募集を行う旨，説明があった。

・若手支援（船水理事）

船水理事より，第21回冬のワークショップについて，日時，開催地，助成内容について資料に基づいて報告があった。続いて国際英文添削支援（若手英語支援）について，2021年度からの変更点の説明があり，積極的な応募の依頼があった。

・30周年記念研究助成金（池田特任理事）

池田特任理事より，日本神経回路学会30周年記念研究助成金制度の紹介と，今年度の募集について説明があった。

・脳科学関連学会連合将来構想委員会（田中理事）

田中理事より，脳科学関連学会連合将来構想委員会の活動内容ならびに同会での検討事項について報告があった。

・WCCI2024（廣瀬先生）

廣瀬顧問（代理：五味会長）より，日本神経回路学会が Technical Co-Sponsor となる国際会議 IEEE WCCI2024 に関する紹介があった。

・NEURO2022（第32回全国大会）（池田特任理事）

池田特任理事（NEURO2022 JNNS 大会長）より，現在開催中の NEURO2022 について参加登録者数，コロナ対策，懇親会等について報告があった。

・ JNNS2023（船水理事）

船水理事より，来年度開催される JNNS2023（第 33 回日本神経回路学会全国大会）について，日時や場所の予定等に関する説明があった。

以上，用意された議事は全て承認された。

また各賞の授賞式は，総会後に執り行われた。